

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



函館市文学館（前ジャックス本社、元第一銀行函館支店）

No. 142 函館商工会議所報  
1993——6月号

はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

みなさまの



## 函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 - 1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 - 3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 - 6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 - 1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 - 6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 - 2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 - 0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 - 2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 - 3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 - 2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 - 5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 - 3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 - 1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 - 5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 - 5521(代)			

## Lhくみのローン

手続カンタン  
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート  
ローン

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

## 函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ6月号 (通巻142号) 目次

今月の表紙／視点	2
会議所の動き	5
・道新幹線総決起大会・陳情を相次ぎ実施	
・共済事業功労者表彰式	
・全道専務・局長会議、道共済会事業振興会	
・高規格道路函館・江差間が着工	
・ビジネス・セミナー開催	
・新会長に沼崎氏を選任 (函館観光協会)	
P・Rコーナー	6
調査レポート	6
・地域の景気 金融経済概況 (四月)	11
・市内第一種大規模小売店舗売上高 (四月)	13
・函館地域における景気動向 (平成四年年度 第4四半期)	13
誌上講演	12
・エイズと企業・予防と対策 (1)	13
・人を活かす 個性を活かす結果	14
共済推進コーナー	15
・暮らしのワンポイント	14
・さわやか君	14
・有段を口指して 詰碁・詰将棋	17
アドバイスコナー	16
・公的年金制度のしくみ (3)	17
Q & A	18
・みんなの相談室 税務相談	19
ご案内	20
・L O B O 調査集計結果 F A X 送信中	22
・社員採用合同企業説明会・就職情報誌	
・刊行物のご案内	
・検定試験のお知らせ	
・講習会ご案内	
・ご利用下さい！本所の個別専門相談	

◇今月の表紙

函館市文学館

(前)ジャックス本社・元第一銀行函館支店  
市電末広町電停から十字街寄り徒歩二分程の地点に建つ「函館市文学館」は、レンガと鉄筋コンクリート造り三階建ての重厚な建物で、大正十年(一九二一年)に旧第一銀行函館支店として建設され、同行の移転に伴い、昭和三十九年(一九六四年)からは株式会社ジャックス本社社屋として使用されてきたが、平成元年(一九八九年)十一月に、同社より当市の文化振興に役立ててほしいと函館市に寄贈された。

この度、約七億円をかけて改装・整備され、新たに函館市文学館として蘇り、本年四月一日開館した。館内では、石川啄木や亀井勝一郎ら函館ゆかりの作家を、自筆原稿や貴重な遺品など、八百五十点余りを通して紹介している。

視 点



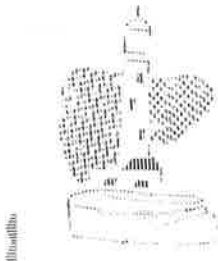
野山の緑も一段とその濃さを増し、すがすがしい初夏を迎えました。ただ近年は、地球温暖化の影響を受けてか、本州とあまり変わらない気候も屢々見受けられますが、しかし、北海道の初夏は格別ですので、大いに楽しむとともにPRにも努めましょう。

ところで六月末頃を目途に進められてきた整備五新幹線の見直しについても、大きな動きがでてきました。それは自民党の整備新幹線建設促進議員連盟の財源問題検討小委員会が、整備五新幹線全線を今後十五年間で建設するということを打出し、これを党議として決定の上、先に政府与党で設置の検討委員会に臨むとのこと。その基本的な考え方は、国の根幹をなす高速交通機関である新幹線は、国家の一大プロジェクトとして、二十一世紀に向け緊急に整備すべきものと位置づけ、その使命としては

- 1 国土の均衡ある発展、地域振興に多大の貢献をする。
- 2 エネルギー効率が高く、環境面に優れている。
- 3 大量輸送、高速性、定時性、安全性に優れている。
- 4 ゆとりある移動空間を提供する生活大国の実現にふさわしい交通機関である。

をあげており、建設財源についても負担割合を見直し、国六十%、地方三十%、J R 十%とすることとしています。当地域に重大な影響をもたらすこの新幹線問題も、間もなく結論が出されることもあり、地域をあげて、関係方面にその必要性を訴え、ぜひ共実現させなければなりません。

# 会 議 所 の 動 き



## 北海道新幹線の実現を！ 総決起大会・陳情を相次ぎ実施

道新幹線期成会総決起大会並びに  
自由民主党に対する要請大会

北海道新幹線建設促進期成会（  
会長・横路北海道知事）の総決起  
大会並びに自由民主党に対する要  
請大会が、去る五月十三日、札幌  
パークホテルで開催され、本所若  
林会頭始め道南地域からも二百名  
を越す多数の方が参加、約二千五  
百名が会場を埋めました。

大会では、横路知事が「道新幹  
線の着工には財源問題などがある  
が、北海道の基幹施設として未来  
に残る。ぜひ政治的決断を」と  
訴え、また、来賓として出席の国  
會議員からは「今度の基本スキ  
ムの見直しは、最大のチャンスで  
あり、最後まで力を緩めず道民の  
総意を結集していただきたい」な  
どと、北海道新幹線の実現に向け  
て力強い発言がなされました。

続いて、道内三期成会から、そ

れぞれ決意表明が行われた後、北  
海道新幹線の早期着工と青函同時  
開業などを決議、この決議文を自  
由民主党整備新幹線建設促進議員  
連盟の小里幹事長に手交しました。

このあとこの決議文をもとに、五  
月十九日中央陳情を実施しました。  
道会議所婦人会連合会中央陳情

また、本年四月に設立された北  
海道商工会議所婦人会連合会でも、  
その最初の事業として、五月十七  
日、北海道新幹線の早期実現を陳  
情しました。これは道内の女性団  
体として初めての中央陳情です。

一方、函館および道南地域の各  
団体による中央陳情も、相次いで  
実施されました。

道新幹線道南地方期成会中央陳情

まず、北海道新幹線建設促進道  
南地方期成会（会長・本所若林会  
頭）による中央陳情が、五月十日  
に実施され、三月から実施の北海

道新幹線の建設と青森・函館同時  
開業を求める三十万人の署名簿を  
運輸大臣に提出するとともに、関  
係国会議員等に地元の熱意を強力  
に訴えました。

青函ツインシティ推進協中央陳情

五月二十五日には、青森・函館  
ツインシティ推進協議会（会長・  
木戸浦函館市長）による中央陳情  
が行われ、両市の市長、市議会議  
長、商工会議所会頭らが、自由民  
主党や運輸省に対して、強力な陳  
情を行いました。

函館・道南の三団体合同中央陳情

さらに、函館と道南地域の民間  
三団体による初めての中央陳情が、  
六月二日に実施されました。

陳情に参加したのは、道南の商工  
会議所・商工会で構成している、  
みなみ北海道広域商工振興連絡協  
議会と、函館市内の新幹線青森・  
函館同時開業促進期成会、それに  
（社）函館地方法人会の三団体で、  
それぞれが本年度の総会で決議し  
た北海道新幹線の早期着工と青函  
同時開業などについて、自由民主  
党三役や関係省庁に対して、強力  
な陳情を行いました。

## 生保7社と挙績者30名を表彰 共済事業推進功勞表彰式

本所四共済事業の受託生命保険会社との連絡会議並びに、平成四年度特に功績のあった受託生命保険会社七社と挙績者三十名の表彰式が、去る五月三十一日ホテル函館ロイヤルにおいて行われました。

会議では、平成四年度の各共済事業の実績報告、平成五年度の加入目標、そして加入拡大推進について協議が行われました。また、



▲感謝状を贈る高野副会頭(右)

表彰式では、高野副会頭より、お祝いの言葉があり、各支社長出席のもとで受彰者それぞれに感謝状と記念品が贈られました。

当日の表彰者は次の通りです。

### ◎生命共済事業功勞者

#### △団体の部

日本団体生命保険(株)函館支社  
大同生命保険(株)函館支社  
富国生命保険(株)函館支社  
東邦生命保険(株)函館支社

#### △個人の部

佐藤毅、辰宮清春、中村しのぶ  
小杉裕子、福田啓子(以上日本団体生命)  
金谷日出子、宮倉一郎、大野ムツ、杉沢悦子(以上大同生命)  
工藤泰三(富国生命)  
蝦名勢津子(東邦生命)

### ◎特定退職金共済事業功勞者

#### △団体の部

大同生命保険(株)函館支社  
日本団体生命保険(株)函館支社  
三井生命保険(株)函館支社

#### △個人の部

千代田生命保険(株)函館支社  
富国生命保険(株)函館支社  
住友生命保険(株)函館支社  
佐藤暢子(住友生命)  
◎年金共済事業功勞者  
△団体の部  
富国生命保険(株)函館支社  
△個人の部  
渋谷貞子、田村且法、関本光子  
杉沢悦子、葛西陽子、中野郁郎  
高野和彦(以上大同生命) 野田  
辰男(日本団体生命) 菅原則子  
(三井生命) 本間京子(千代田生命) 蛸子文子(富国生命)

#### △個人の部

小崎節子、高野宏子、上田幸子  
菅井秀子、山村保子(以上富国生命) 安島郁子、東山義子(以上朝日生命)

敬称略

## 全道専務理事・事務局長会議 道共済会事業振興会総会開催

全道商工会議所専務理事・事務局長会議並びに北海道共済会事業振興会総会が、去る五月十二日札幌市で開催され、本所から平野専務理事、野崎事務局長が、出席しました。

まず、全道商工会議所専務理事・事務局長会議では、六月九日登別市で開催される第四十二回全道商工会議所大会への提出議案二十六項目(金融税制分科会六議案、商工振興分科会五議案、運輸観光分科会八議案、開発促進・産炭地振興分科会七議案)及び特別提案三項目などを決めました。

一方、北海道共済会事業振興会総会では、平成五年度の事業計画と収支予算等について審議が行われ、すべて原案どおり決定しました。また、事務局から生命共済制度加入者の高令化により、保険金の上昇傾向にあるため、年令群別別掛金方式を導入することによって、今後健全なる運営が確保できるとの説明がなされ、本所でも、この方式の導入を検討することになっています。

## 高規格道路函館・江差間が着工 早期完成のための中央陳情実施

去る五月二十八日、高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）函館・江差自動車道の安全祈願祭並びに着工式が、同自動車道の起点となる函館市桔梗町国道五号線沿いの函館ジャンクション建設予定地で行われ、木戸浦函館市長をはじめ周辺市町村関係者並びに本所松本副会頭が出席しました。

計画全体では、函館・江差間の

総延長七十キロ区間を四車線（一部は暫定二車線）の自動車専用道路で結ぶもので、全線が開通すれば函館・江差間の所要時間が、現在の約一時間半から四十五分程度に短縮できる見通しです。この程着工したのは、函館から上磯町茂辺地間を結ぶ約十八キロの区間で、十年後の完成に向けて、順次函館

側から工事を進めていくこととなっておりです。

なお、函館市及び渡島・松山両支庁管内の一市二十六町村の商工会議所と商工会で構成する「みなみ北海道広域商工振興連絡協議会」でも、去る六月二日、同協議会（会長・本所若林会頭）が陳情団を組織し、同自動車道の函館・茂辺地間の早期完成並びに茂辺地・江差間の早期着手を、関係省庁に対して強力に陳情いたしました。

当日は、本所側より正副会頭始め、議員、関係機関など約五十名

が出席、一方、ハワイ側からは、ベンジャミン・福本会頭ら九名が出席し、「ハワイ州の経済並びにビジネス・投資環境の現状」、「ハワイ州の歓迎する投資対象」など七つのテーマについて講演がなされました。

なお、セミナー終了後、来賓に木戸浦函館市長、広瀬渡島支庁長を招き懇親レセプションが開催され、和やかなうちに両商工会議所の懇親と交流がなされました。

## 国際化時代のビジネスを考える ビジネス・セミナー開催

本所、渡島支庁、函館市の三者後援による日経産業新聞セミナー「今、ロシアとどう付き合おうか」が、去る五月十八日函館国際ホテルで開催されました。

当日は、東レ経営研究所顧問森本忠夫、日商岩井専務吉田進両講師より、それぞれ「ロシア情勢の読み方」、「日ロ経済交流は進むのか」と題した講演がなされ、二百名を超える参加者が熱心に聴講

## 新会長に沼崎氏を選任

去る五月二十一日、社団法人函館観光協会の通常総会が函館国際ホテルで開催され、任期満了に伴う役員改選により、新しい会長には、本所副会頭の沼崎弥太郎氏（㈱エス・イー・シー代表取締役社長）が選任されました。

総会の席上、沼崎会長から「冬のイベントなどを強化、通年観光を確立、また、空港の国際化による海外観光客の増加を目指したい」との就任挨拶がありました。





# 事務局日誌

## 5月

### \*正副会頭会議

- 7(金) 第38回正副会頭会議
- 24(月) 第39回正副会頭会議

### \*会議(道商連)

- 12(水) 第152回全道商工会議所専務理事・事務局長会議

### \*経審査会

- 18(火) 小企業等経営改善資金審査会

### \*諸会議

- 7(金) (社) 函館観光協会第2回理事会
  - 〃 函館港利用促進協議会幹事会
  - 〃 函館市亀田商工会、銭亀沢商工会、本所とのトップ懇談会
- 8(日) 第24回箱館五稜郭祭実行委員全体会議
- 11(火) 会計検査院による中小企業相談所会計実地検査
  - 〃 函館方面暴力団離脱者支援対策協議会設立総会
- 12(水) 第16回北海道共済事業振興会総会、懇親会
- 13(木) 渡島地方技能尊重運動推進協議会総会、懇親会
- 14(金) 商工会議所共済制度推進協議会(WITHプラン協議会)
  - 〃 新函館市観光基本計画検討委員会
  - 〃 函館日本協会総会、講演会、懇親会
- 18(火) 全道珠算競技大会に係る打合せ
  - 〃 日経産業新聞セミナー講師との懇談
  - 〃 日経産業新聞セミナー
- 19(水) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会連絡会
- 20(木) 全道珠算競技大会に係る打合せ
  - 〃 函館市自衛隊協力会総会
  - 〃 函館園企業誘致推進協議会幹事会
- 21(金) (社) 函館観光協会通常総会、懇親会
- 24(月) 函館園企業誘致推進協議会総会
  - 〃 北海道新幹線建設促進期成会第2回幹事会
  - 〃 函館中国経済促進協会総会
  - 〃 (財) テクノポリス函館技術振興協会理事懇談会
  - 〃 (財) テクノポリス函館技術振興協会会計監査
- 25(火) 函館市西部地区歴史的町並み資金運営委員会
- 26(水) (財) テクノポリス函館技術振興協会第2回理事会
  - 〃 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会総会
- 27(木) 郷土芸能函館巴太鼓振興会役員会、総会
  - 〃 国立函館大学誘致促進期成会理事会、総会
  - 〃 ハワイ・ビジネス・セミナー(ホノルル日本人商工会議所)
  - 〃 函館販売士協会正副会長会議
- 28(金) 函館空港整備促進協議会総会
  - 〃 (財) 日本関税協会函館支部事業報告会、講演会
- 31(月) 四共済連絡会議
  - 〃 平成4年度共済事業推進功労表彰式

### \*講習・催物

- 7(金)・11(水)・14(金)・18(火) } 複式簿記実務講座
- 21(金)・25(火)・28(金)
- 12(水) 第2回会津の物産と観光展
  - 〃 経営相談
- 19(水) 発明相談

- 27(木) 第10回北海道味覚まつり
- 28(金) 法律相談
- 29(日) 日本経営管理協会道南函館支部青函まちづくりリーダー講座

### \*刊行物

- 所報「ともえ」5月号 No.141
- 函館市におけるモデル退職金  
(平成4年度モデル条件別退職金調査結果)

### \*相談・診断

- 金融 122 税務 18 経理 4 経営 24 労働 1  
取引 0 その他 1 合計 170

### \*貸室 10

### \*文書受信 225 発信 17

### \*検定試験

- 15(日) 第11回2級ワープロ技能検定試験
- 30(日) 4級ワープロ技能検定試験

### \*陳情・要望

- 10(月) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会中央陳情
- 13(木) 北海道新幹線早期着工実現全道総起大会並びに自由民主党に対する要請大会
- 14(金) 「The新幹線フォーラム」(主催、東北・北海道新幹線建設促進三道県協議会)
- 19(水) 北海道新幹線建設促進期成会の新幹線に関する懇談会
  - 〃 北海道新幹線建設促進期成会中央陳情
- 25(火) 青函ツインシティ推進協議会による北海道新幹線に関する中央陳情
- 26(水) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会中央陳情

### \*慶弔・その他

- 6(水) 第44回植樹祭式典
- 7(金) 協同組合函館総合卸センター池見理事長一行表敬訪問
- 9(日)~17(月) 中国宮口市視察訪問
- 11(水) 会津の物産と観光展一行表敬訪問
  - 〃 箱館戦争戦没者供養祭
- 12(水) 北海道税理士会函館支部(定時総会)懇親会
  - 〃 会津の物産と観光展オープニングテーブルカット
- 15(土) ヤマトタカハシ(株)北海道昆布館内覧会並びに竣工披露
  - 〃 第24回箱館五稜郭祭マスター土方コンテスト
  - 〃 第24回箱館五稜郭祭記念式典
  - 〃 萩上元春さんを励ます集い
- 16(日) 第24回箱館五稜郭祭維新行列
- 18(火) 三菱商事(株)発注MTDW型撤積貨物船進水式、祝賀パーティー
  - 〃 (社) 函館地方法人会(通常総会)懇親会
- 19(水) 函館特産食品工業協同組合(通常総会)懇親会
  - 〃 函館機械金属造船工業協同組合連合会(通常総会)懇親会
- 20(木) 北海道中小企業団体中央会道南支部(通常総会)懇親会
- 21(金) 函館大学新講義棟落成披露、式典、祝賀会
  - 〃 函館信用金庫(総代会)懇親会
- 24(月) 中国在札幌総領事趙鍾鑫氏及び副領事何平氏表敬訪問
  - 〃 新都心五稜郭協議会創立25周年記念祝賀会
- 26(水) 北海道東北開発公庫総裁穴倉宗夫氏表敬訪問
  - 〃 函館都心商店街振興組合(通常総会)懇親会
- 27(木) ハワイ・ビジネス・セミナー一行との懇親レセプション
  - 〃 五稜郭商店街振興組合(通常総会)懇親会
- 28(金) 高規格幹線道路函館・江差自動車道安全祈願祭、着工式、着工祝賀会
  - 〃 函館物産協会(定時総会)懇親会
  - 〃 (協) 函館専門店会(通常総会)懇親会

大幅に減少しており、抑制的な生産スタンスを継続。この間、漁網はサケ・マス流し網向けが高めの生産を続けているが、全体の受注・生産は依然低調裡に推移。

#### (4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注額(4月)は、大型補正予算の成立を控え、各官庁が今年度予算の上半期中の早期発注に努めていることが奏功し、プラス25.2%と前年を上回った。また、函館市および周辺3町の住宅着工戸数(4月)は、周辺3町で持家、貸家等が堅調に推移していることから、全体でもプラス6.3%と2カ月連続して前年を上回っている。こうしたなか、建設業者の仕事繰りをみると、公共工事の前倒し執行や住宅投資の持ち直し等から関連業者では繁忙裡に推移しているものの、民間設備投資関連では、新規大型建築案件が少ないことから依然低調。

#### (5) 農業

農業では、渡島、桧山とも農作業が順調に進捗しており、水稲等農作物の生育状況みても、低温や日照時間減少の悪影響もみられず平年並みでスタート。

#### (6) 消費関連

4月中の市内大型小売店(10店)の売上高は、婦人物を中心に衣料品等が引続き前年割れとなったことが響き、8カ月連続の前年割れ(前年比マイナス3.9%)となっているが、雑貨や小物の一部に動意が窺われ始めている。一方、耐久消費財では、新車自動車販売が3月大幅増の反動から再び前年割れとなったもの

の、家電販売は、カメラ一体型ビデオ等AV機器や冷蔵庫等白物を中心に底打ち感が窺われ始めている。この間、観光・レジャー面をみると、交通機関の利用客数が航空路増便等からほぼ前年並み水準まで回復したほか、湯の川地区を中心とした宿泊施設、ロープウェイ等の観光施設も前年を上回る入込みを示すなど、全体でもまずまずの盛上がりを見せている。

### 3.金融事情(4月中)

実質預金は、年金振込や交付金流入等が前年を上回ったものの、公共事業関係費の支払い充当から公金預金の増加が前年を下回ったことを主因に、月中15億円と前年の34億円増に比べて小幅増加に止まった。一方、貸出しは、設備需資が引続き盛上りを欠いたほか、期末決済資金の回収も多額にのぼったため、月中208億円減と前年の168億円減を上回る大幅な減少となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長・短期プライムレートの下げ等を映じ、月中マイナス0.049%と引続き低下した。

銀行券は、5月初めの大型連休資金手当てを中心に支払いが前年を大きく上回ったため、前年の還収超19億円とは様変わりの中42億円の発行超となった。

財政収支は、公共事業関係費の支払い増を主因に、月中152億円と前年の43億円を大幅に上回る払超となった。

## 新規学校卒業者(中学・高校)求人季節です!

～優秀な人材確保のため、求人のお申込みはお早めに～

ハローワーク函館では、平成6年3月の新規学校卒業者(中学・高校)にかかる求人の受理を6月20日より開始いたします。

地元での就職希望者で優秀な人材を確保するため、採用計画のある企業はお早めに求人のお申込みをご提出ください。

各学校では、安定所で受理されていない求人票に対する生徒の推薦は行いません。  
(求人は安定所にお申込みいただいた後、受理された控えを学校に提出していただくこととなります。)

#### 新規高等学校卒業者にかかる推薦及び選考開始期日等

① 求人受理開始(事業主→安定所).....	6月20日
② 求人者に対する求人票(控え)返戻(安定所→事業主).....	7月1日以降
③ 安定所で確認した求人票(控え)の学校での受理開始(事業主→学校).....	〃
④ 安定所で受理した求人票の学校への提示(安定所→学校).....	〃
⑤ 他安定所への求人連絡開始.....	〃
⑥ 推薦開始.....	9月5日以降
⑦ 選考開始.....	9月16日以降
⑧ 採用内定開始.....	選考開始と同日以降

#### 新規中学校卒業者にかかる推薦及び選考開始期日等

① 求人受理開始.....	6月20日
② 求人者に対する求人票(控え)の交付.....	7月1日以降
③ 他安定所への求人連絡開始.....	〃
④ 推薦・選考開始.....	12月1日以降
⑤ 採用内定開始.....	選考開始と同日以降

詳細については、ハローワーク函館(函館公共職業安定所)学卒コーナー  
〔☎26-0735・内線419〕へどうぞ





## 1. 概況

管内経済は、公共投資が引続き順調に推移、住宅投資も回復傾向を辿っているほか、家電販売の一部には売上増を示すものもみられるなど、景気底入れの兆しが窺われ始めている。もっとも、製造業を中心に設備投資の減少が続いているほか、市内大型小売店や水産加工の売上不振が続くなど、個人消費が総じてみれば低調に止まっていることから、全体としては足許なお調整局面にある。

すなわち、製造業では、水晶振動子が欧米向け輸出拡大から、またセメントが公共需要増加から、ともにフル生産を行っているほか、合板機械もこのところ生産を徐々に高めている。また、橋梁部門の新規受注が増加している造船や米国向け輸出が引続き好調な半導体も、まずまずの操業を維持している。一方、消費関連需要の回復の遅れを受けて、製缶機械の生産が依然低迷しているほか、水産加工の売上も乾燥珍味を中心に、なお低調に止まっている。非製造業では、市内大型小売店の売上が引続き前年割れとなったほか、新車販売台数も3月に大幅増加したあと再び前年を下回ったものの、家電販売では一部商品に下止まり感が窺われ始めている。また、建設業者の仕事繰りをみると、公共投資、住宅関連はまずまずの仕事量を確保しているものの、民間設備投資関連は低調裡に推移。この間、シーズン入りした観光は、交通機関の利用客数がほぼ前年並みとなったほか、宿泊・観光施設の入込みが前年を上回るなど、まずまずの盛上りをみせている。

農業では、農作業が順調に進捗し、水稻等農作物の生育状況も平年並みとなっている。

こうしたなか、ゴールデンウィーク期間中

の観光については、①飛び石だった昨年と異なり大型連休となったことに加え、②ホテル・旅館筋の積極的な予約確保、③航空機の増便、④札幌方面からの松前花見客の増加等により、全体的に前年を上回る入込みとなった。

なお、最近の急速な円高の影響については、もともと管内には輸出関連企業が少ないため、景気全体に与えるマイナス・インパクトは足許軽微なものに止まっているが、一部では輸出商談の先細りや海外メーカーとの競争激化を懸念する声が強まりつつある。

4月の金融動向をみると、預金は公共事業関係費の支払いに伴う公金預金の取崩し等を主に小幅増加、一方、貸出しは設備需資が引続き盛上りを欠いたほか、期末決済資金の回収も多額にのぼったため大幅減少となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期、長期とも引続き低下した。

## 2. 主要業種別動向

### (1) 機械・電子部品

水晶振動子は、欧米向け移動体通信関連の需要好調から高水準の生産となっているほか、合板機械も新型機械の受注増加を背景に生産水準を高めつつある。また造船も、修繕船受注が伸び悩んだものの、新年度の橋梁工事の受注好調から全体ではまずまずの操業を維持している。さらに水産加工機械では、生産は足許低水準ながら、受注に動意が窺われつつある。一方、半導体は、米国向けパソコン関連需要は好調を持続しているが、国内需要が依然盛上りに欠けるため、全体では前年並みの生産に止まっている。製缶機械は、消費関連需要の回復遅延から生産の低迷が続いている。

### (2) 食料品

水産加工の売上は、生鮮珍味が惣菜向けを中心に堅調に推移。一方、乾燥珍味は、数量的には問屋筋の行楽需要向け発注増からまずまずながら、原料安を映じた納入価格の低下が響き、依然前年割れとなった。また、飼料・魚油の売上も引続き前年を下回った。

### (3) その他製造業

セメントは、公共需要を中心に足許フル生産体制で臨んでいるほか、生コン出荷も好調裡に推移。一方、段ボールの生産・出荷が水産物、青果物の荷動き鈍化等を背景に3カ月振りに前年を下回ったほか、合板でも原木高の製品価格転嫁が続くなか、需要家の代替品へのシフトの動きがみられることから出荷が

【卸売業】

今期比△9.5、前年同期比△25.5となっており、細業種では、飲食料品業、医薬・化粧品業で増額を見込む企業が多くなったが、他は厳しい見通しとなっている。

【小売業】

今期比△5.6、前年同期比△21.8と引続き厳しい見通しとなったが、細業種では飲食料品業、自動車小売業で増額を見込む企業が多くなっている。

【サービス業】

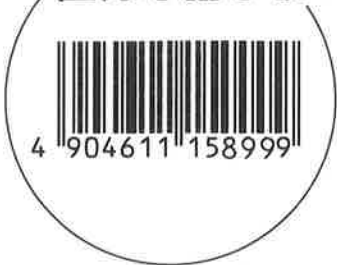
今期比△12.0、前年同期比△20.0と厳しい

見通し。細業種では、春の行楽期を迎えて、ホテル・旅館業等の観光関連業種で増額が見込まれたが、他は依然慎重な見通しとなった。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とする企業1.6%に対し、「変わらない」とする企業が81.6%、「悪化」とする企業16.8%で、D Iは△15.2となり、資金繰り状況は今期と同様の見通しとなっている。

## JANコード(バーコード)の登録申請手続きは商工会議所へ



商品にJANコードを印刷するためには、(財)流通システム開発センター/流通コードセンターに対して登録申請手続きを行い、あらかじめ商品メーカーコードを付与してもらう必要があります。

商工会議所では、このJANコードを印刷する際に必要となる商品メーカーコードの新規登録、更新登録の申請手続きの受付を代行しております。

☆お問い合わせ先☆ 振興課 (☎23-1181)

## 函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年4月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,997,004	82.6	94.4
身の回り品	709,035	80.8	99.3
雑貨	813,911	90.3	96.7
家庭用品	761,363	97.7	92.3
食料品	1,825,271	91.1	96.8
食堂・喫茶	154,335	84.4	94.0
サービス	118,033	108.9	104.8
その他	549,874	97.4	103.3
総計	7,928,826	87.7	96.1

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、  
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

種でもトップにあがっている。

その他の問題点を業種別にみると、

建設業では「求人難」12.5%、「資材の値上がり」・「工事価格の値下がり」・「景気の見通し難」がそれぞれ8.3%。

製造業では「景気の見通し難」15.9%、「人件費等経費の増加」13.6%、「純利益の減少」9.1%。

卸売業では「純利益の減少」13.2%、「人件費の増加」・「景気の見通し難」がそれぞれ11.3%。

小売業では「客足の減少」13.5%、「流通経費の増加」11.5%。

サービス業では「客足の減少」23.8%、「人件費の増加」18.9%となっている。

### 来期(4月～6月)の見通し

今 期：5年1月～3月実績

前年同期：4年4月～6月実績

#### 1. 業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種で見ると、今期に比べ「好転」するとみる企業19.8%に対し、「横ばい」とみる企業57.4%、「悪化」するとみる企業22.8%となっており、DIは△3.0とマイナスながら、その幅が縮小しており、本格的な需要期を迎えることから、厳しさの中にも先行きに対する期待感が窺われる。

前年同期比で見ると、「好転」9.5%に対し、「横ばい」57.7%、「悪化」32.8%で、DIは△23.3となっており、引続き厳しい見通しとなっている。

業種別のDIで見ると、今期比では、建設業△16.7、製造業9.1、卸売業△3.7、小売業△5.6、サービス業△4.0と、製造業でプラスに転じたほか、概ねマイナス幅が縮小している。

しかし、前年同期比ではいずれの業種も2ケタのマイナスとなっている。

図-5 来期の業況見通し(対前年同期比)

(D-I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (-23.3)	9.5	57.7	32.8
建設業 (-25.0)	8.3	58.4	33.3
製造業 (-34.1)	6.8	52.3	40.9
卸売業 (-18.5)	13.0	55.5	31.5
小売業 (-20.4)	7.4	64.8	27.8
サービス業 (-20.0)	12.0	56.0	32.0

#### 2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種で見ると、今期に比べ「増加」するとみる企業20.5%に対し、「横ばい」とみる企業49.2%、「減少」するとみる企業30.3%で、DIは△9.8となり、マイナス幅は縮小している。

また、前年同期比で見ると、全業種では「増加」9.7%に対し、「横ばい」が54.9%、「減少」35.4%で、DIは△25.7となり、引続き減少傾向が見込まれている。

図-6 来期の売上見通し(対前年同期比)

(D-I)	増加	横ばい	減少
全業種 (-25.7)	9.7	54.9	35.4
建設業 (-25.0)	8.3	58.4	33.3
製造業 (-35.0)	10.0	45.0	45.0
卸売業 (-25.5)	9.8	54.9	35.3
小売業 (-21.8)	9.1	60.0	30.9
サービス業 (-20.0)	12.0	56.0	32.0

次に来期の売上見通しを業種別のDIで見ると、

#### 【建設業】

今期比△37.5、前年同期比△25.0と厳しい見通しとなっており、細業種では、今期比較的堅調であった総合工事業が慎重な見通しとなったのをはじめ、他の業種も引続き減額を予想している。

#### 【製造業】

今期比2.5、前年同期比△35.0と、今期比がプラスとなったが、細業種で見ると、本格的な需要期入りを迎えた水産加工業で、増額を見込む企業が多くなっている。

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額についてのD Iは、前期比△ 8.3、前年同期比△ 4.1と、他の業種に比較するとマイナス幅が小さくなったが、細業種では、総合工事業のD Iが僅かながら、前期比、前年同期比ともプラスに転じたことによる。

しかし、民間建築需要の停滞が続いていることもあって、職別工事業、設備工事業では依然減少傾向となっている。

【製造業】

今期の生産額についてのD Iは、前期比△ 58.2、前年同期比△ 46.5といずれもマイナス幅が大きく、また前年同期に比べ売上が「増加」したと回答した企業が10%に満たないなど、生産活動は厳しい結果となった。

細業種でも、前期比、前年同期比ともD Iがプラスの業種はなかった。

【卸売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比△ 41.8、前年同期比△ 33.4となり、細業種では、医薬品・化粧品卸売業が引続き堅調に推移したが、他は横ばいまたはマイナスを示している。

【小売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比△ 22.2、前年同期比△ 30.2となっており、細業種でも、個人消費の停滞から、いずれの業種も依然低調に推移している。

【サービス業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比△ 40.0、前年同期比△ 32.0と減少傾向。細業種では、前期まで比較的好調であった自動車整備業も前年実績を下回り、D Iがマイナスに転じている。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業 9.9%に対し、「横

ばい」企業が34.0%、「減少」している企業 56.1%で、D Iは△ 46.2となり、引続き減少傾向。前期D I（対前期比△ 29.1）と比べて、マイナス幅が拡大している。

また、今期の純利益を前年同期比で見ると、全業種では「増加」 8.6%に対し、「横ばい」 35.9%、「減少」 55.5%で、D Iは△ 46.9となり、採算は悪化している。

業種別にみても、すべての業種で前期比、前年同期比ともD Iが2ケタのマイナスとなっている。

図-3 今期の純利益(対前年同期比)

業種	対前期比		
	増加	横ばい	減少
全業種 (-46.9)	9.9	34.0	56.1
建設業 (-16.7)	12.3	58.3	29.2
製造業 (-53.3)	0.7	33.3	66.0
卸売業 (-42.2)	13.5	30.6	55.7
小売業 (-58.4)	3.9	34.0	62.2
サービス業 (-50.1)	8.3	33.3	58.4

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種で見ると、前期に比べ「好転」している 1.0%に対し、「変わらない」が76.8%、「悪化」しているが22.2%で、D Iは△ 21.2と、引続き厳しい状況となっている。また受取手形期間が次第に長期化の傾向をみせており懸念される。

図-4 今期の資金繰り(対前期比)

業種	対前期比		
	好転	不変	悪化
全業種 (-21.2)	1.0	76.9	22.2
建設業 (0.0)	0.0	100.0	0.0
製造業 (-30.2)	0.0	69.6	30.2
卸売業 (-13.7)	2.0	82.3	15.7
小売業 (-27.5)	0.0	72.5	27.5
サービス業 (-28.0)	4.0	64.0	32.0

5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、「売上・受注の不振」をあげる企業が43.8%で最も多く、またこれは、いずれの業

# 函館地域における 景気動向

〈平成4年度・第4四半期〉

平成4年度・第4四半期（平成5年1月～3月）の函館地域における景気動向調査（本所調査）結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	320社	204社	63.8%
建設業	40	24	60.0
製造業	80	45	56.3
卸売業	70	55	78.6
小売業	90	55	61.1
サービス業	40	25	62.5

（注）本調査結果の中のD Iとある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

## 今期（1月～3月）の実績

前 期：4年10月～12月実績

前年同期：4年1月～3月実績

### 1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業8.9%に対し、「横ばい」企業が43.3%、「悪化」している企業47.8%で、D Iは△38.9と、前期D I（対前期比△16.5）よりマイナス幅が拡大している。

業種別のD Iで見ると、建設業△12.5、製造業△53.4、卸売業△46.3、小売業△27.3、

サービス業△48.0といずれも2ケタのマイナスとなった。

また、今期の業況を前年同期比で見ると、全業種では、「好転」11.0%に対し、「横ばい」41.0%、「悪化」48.0%で、D Iは△37.0となり、平成3年度第3四半期以来、6期連続のマイナスとなった。

業種別のD Iで見ても、いずれの業種もマイナスを示しており、各業種とも30～50%の企業が業況の悪化を訴えている。

図-1 今期の業況(対前年同期比)

(D I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (-37.0)	11.0	41.0	48.0
建設業 (-8.4)	20.6	50.0	29.2
製造業 (-48.8)	6.7	37.8	55.5
卸売業 (-32.6)	13.5	40.4	46.1
小売業 (-40.7)	9.3	40.7	50.0
サービス業 (-44.0)	9.0	40.0	52.0

### 2. 売上額について

今期の売上額を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業11.4%に対し、「横ばい」企業が41.3%、「減少」している企業47.3%で、D Iは△35.9となり、引続き減少傾向。季節的要因も重なって、前期D I（対前期比△15.7）よりマイナス幅が拡大している。

また、今期の売上額を前年同期比で見ると、全業種では「増加」14.3%に対し、「横ばい」39.8%、「減少」45.9%で、D Iは△31.6となり、やはり6期連続のマイナス、悪化基調で推移した。

図-2 今期の売上額(対前年同期比)

(D I)	増加	横ばい	減少
全業種 (-31.6)	14.3	39.8	45.9
建設業 (-4.1)	29.2	37.5	33.3
製造業 (-46.5)	7.0	38.5	53.5
卸売業 (-35.4)	13.7	39.2	47.1
小売業 (-30.2)	15.1	39.6	45.3
サービス業 (-32.0)	12.0	41.0	44.0